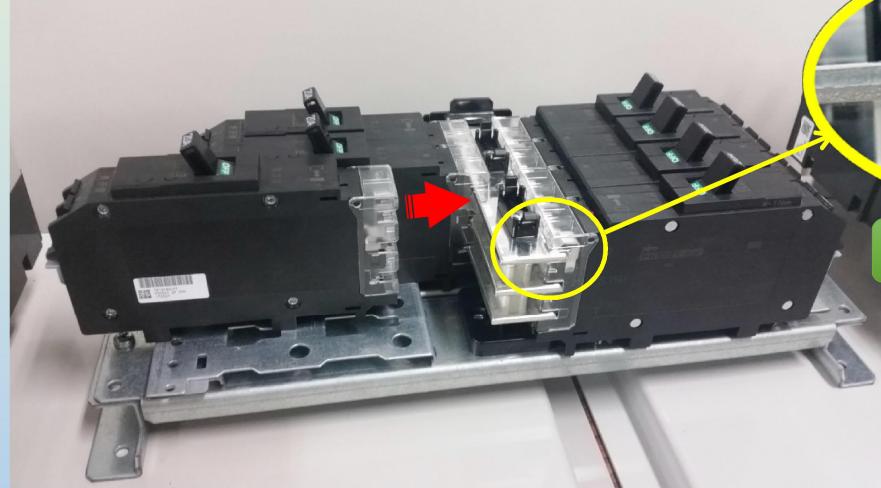


1. プラグイン接続

分岐ブレーカ一次側プラグイン端子構造の採用

分岐ブレーカ一次側はプラグイン構造を採用しているため、
ブレーカ交換時のねじ締め作業がなく、スライドイン
により簡単に接続ができます。



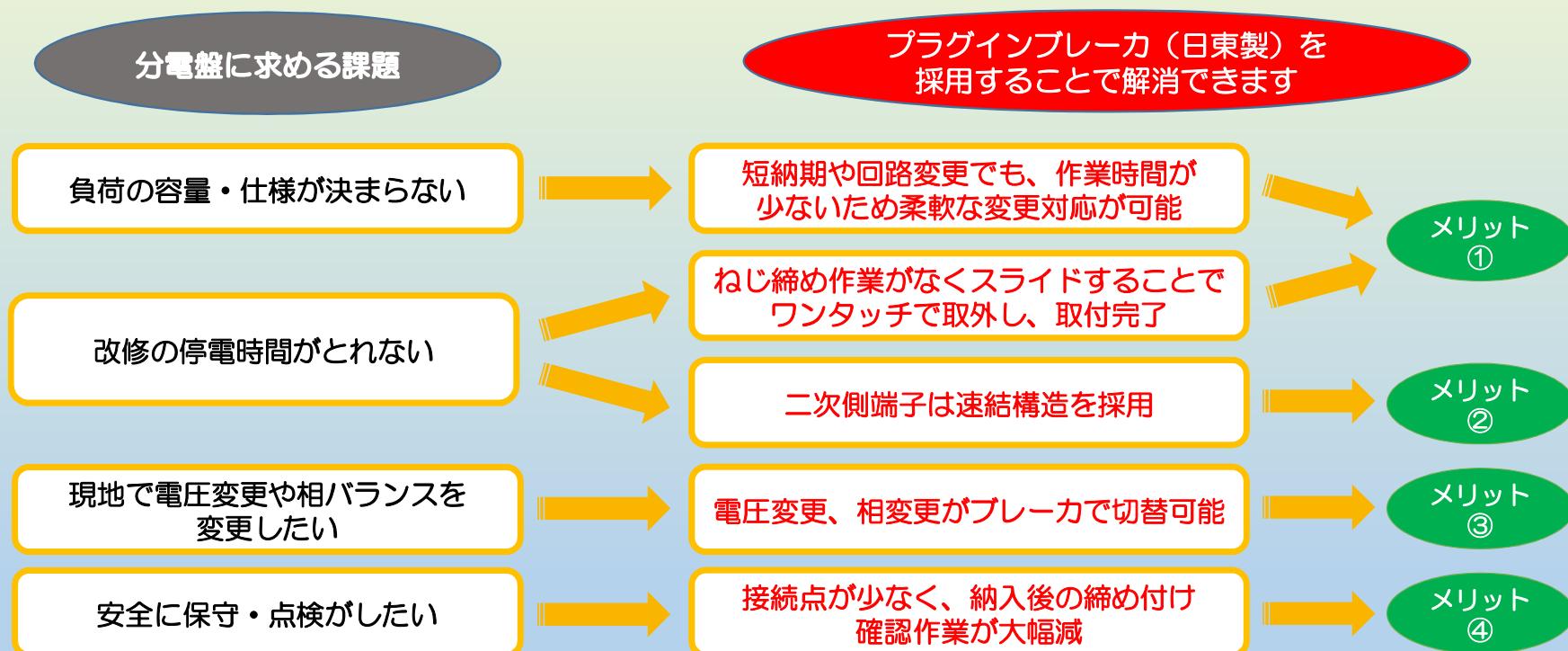
プラグ接続部

分岐ブレーカ接続イメージ



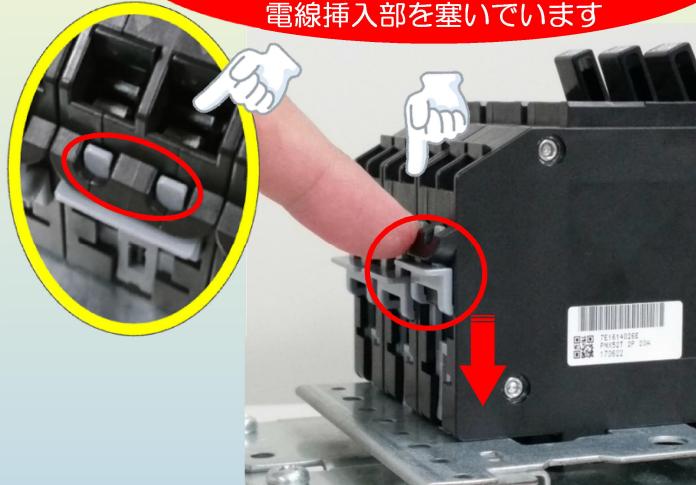
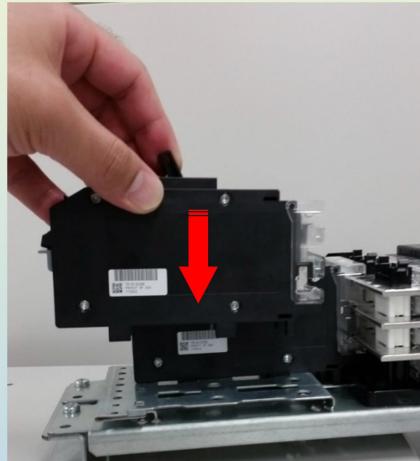
2. プラグインブレーカのメリット

日東製プラグインユニットを採用するメリット



メリット
①

分岐ブレーカの交換・追加・変更に短時間で対応可能



取付台にセット

母線バーに水平に差し込む

取付レバーをロックして
取付完了！

※ブレーカの取外しは逆の手順となります

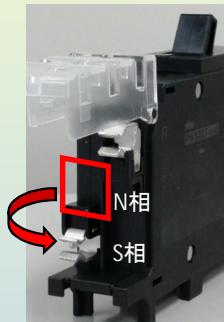
簡単に取外し・取付が可能で改修時間の短縮となり停電時間も短くなります

メリット ②

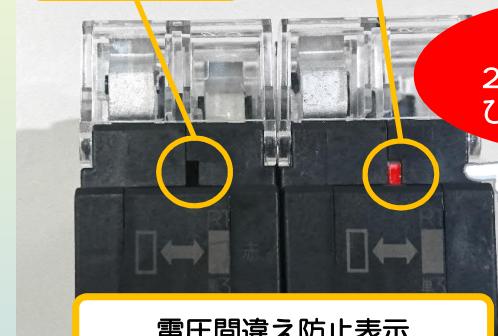
電圧変更、相切替が容易



電圧切替
100V(R-N)→200V(R-S)



100V表示 200V表示



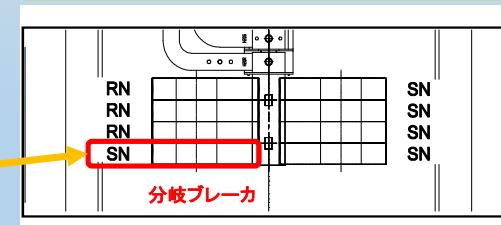
電圧間違え防止表示

相切替
100V(R-N)→100V(S-N)



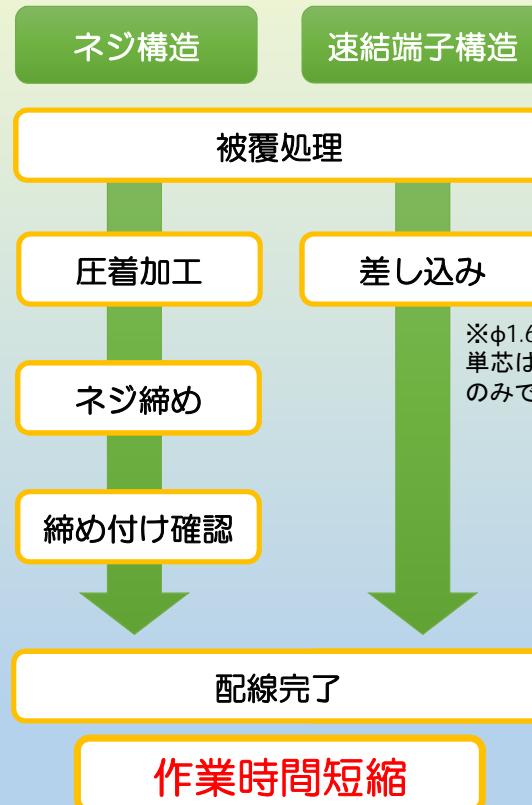
負荷変更があってもブレーカ側で
相切替ができるので相バランスの
変更が容易です

相に関係なく
左右どちらでも
配置可能です

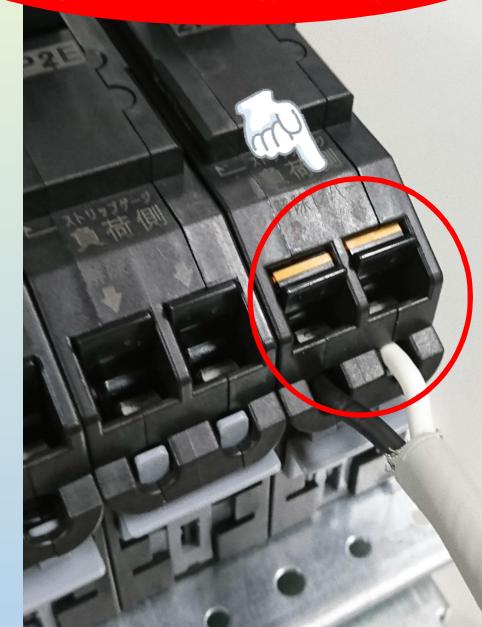


メリット
③

二次側端子は速結構造のため配線作業時間を短縮できます



安全Point
電線を差し込みオレンジ色の表示が出れば配線完了です



メリット
④

ブレーカ充電部の締め付け確認作業が削減され保守作業が軽減します

■締め付け確認箇所

主幹バー接続部 3点

分岐ブレーカ電源側接続部 28点

分岐ブレーカ負荷側接続部 16点

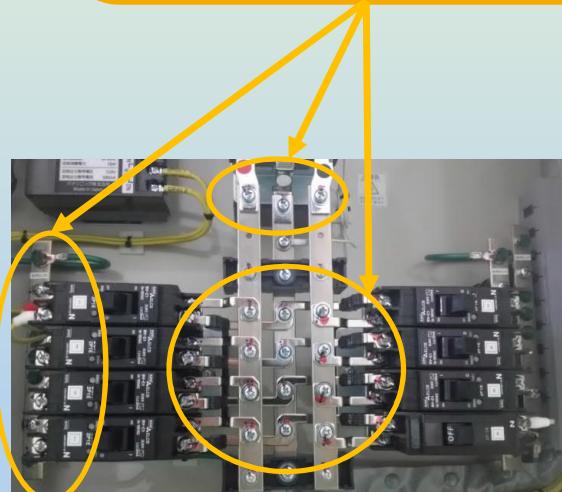
94%削減

■締め付け確認箇所

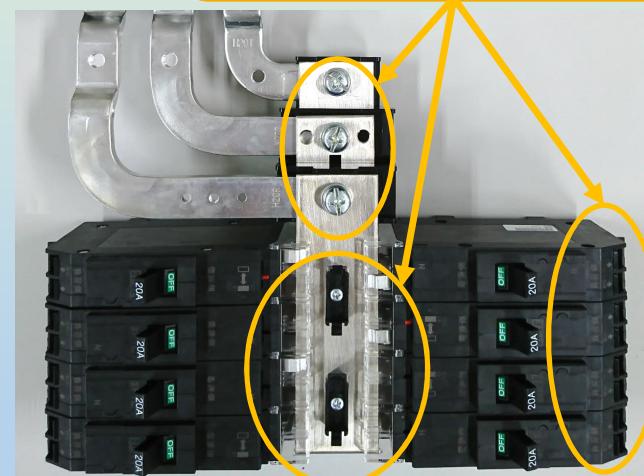
主幹バー接続部 3点

分岐ブレーカ電源側接続部 0点

分岐ブレーカ負荷側接続部 0点



ネジ構造



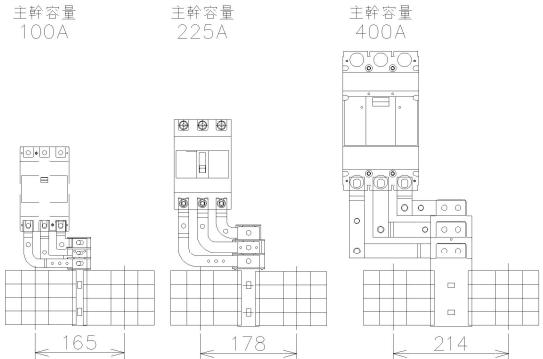
プラグイン構造

※負荷側速結端子使用時

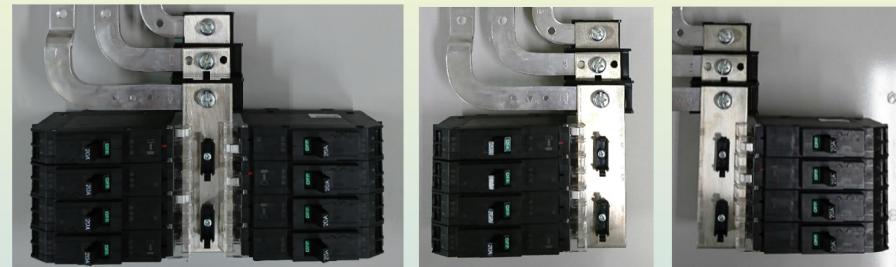
3. 豊富なラインアップ

用途に合わせてオプションを選択できます

主幹容量は400Aまで対応可能



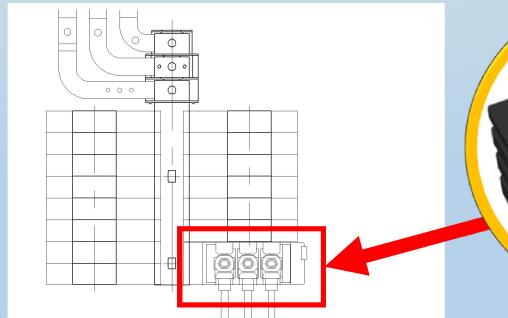
片側配置とすることで省スペースを実現



負荷側速結接地端子



プラグイン送り端子台付で
幹線末端からの配線が可能



送り端子ユニット